

第100回

花壇コンクールが

開催されます

花壇コンクールは、市民の皆さんが主役となり、花とみどりいっぱい
のまちの実現に向けて共に考え、共に育て上げていくものです。花壇の
デザインや日常の花壇管理を通して地域のつながりを育み、地域の
皆さんと一緒に環境づくりやいきいきと生活できる健康づくり
を目指しています。

市民の皆さんに提供する草花を、種の提供や既製品を利用することなく、
市が種から苗まで育てて提供する花壇コンクールは、全国でも珍しい
取り組みです。第100回の審査は9月に行われます。



町田サレジオ幼稚園 GIARDINETTOの花壇

秋のコンクールでは
町田市の花
「サルビア」が見頃です

花壇コンクールの流れ



苗の育成・配布

コンクールに向けた準備が始まります。下小山田苗圃で苗を育成し、活動団体に配布します。



植え付け・管理

花壇のデザイン、苗の植え付け、水やりや草むしりなど維持管理を行います。



審査

年に2回(春・秋)、花壇の美しさや育成状況などを審査します。結果発表が楽しみです。



特別審査員 恵泉女学園大学講師 **山 浩美さん**

花壇コンクールは、花壇のデザイン・花の生育状況・手入れ・総合美の4つの基準をもとに審査しています。参加団体の皆さんには、花壇面積に応じて同じ種類の苗を同

じ割合で配布していますが、皆さんの工夫でどこにも同じ花壇はありません。花壇づくりは苗を植えて終わりではなく、育ったらどうなるかまで工夫して手入れすることが楽しみであり、きれいに咲かせる秘訣です。ぜひいろんな所の花壇を見に行き、違いを楽しんでいただけたらうれしいですね。

まちだを花とみどりで彩るひと

●町田市花壇コンクールに長年関わる

CPM花のサークル 代表 **渋谷 貞子さん**

「町田市をごみのないきれいなまちにした」という思いから、花壇コンクールが始まったと聞いています。私の花壇は道路沿いにあり、誰でも座れるベンチのようになっています。地域の人に声を掛けられたり、通学する子どもたちに挨拶してもらったり、花壇を通して地域のコミュニケーションが生まれていると感じています。花壇の手入れは膝をよく使うので、体も鍛えられます。心と体によい効果をもたらす、花の持つ力を毎日感じています。市外の方に町田市の花壇コンクールを紹介すると驚かれるんですよ。



花壇コンクールに参加するには

対象 花壇管理を行う方が10人以上所属する団体

花壇の設置場所 公園や広場、歩道、空き地、住宅地の塀沿いや門周り、学校・幼稚園などの市内の人の目に触れる場所に10平方メートル以上(約3坪程度)の花壇づくりができる場所

申し込み

市HP(右記二次元バーコード)で申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、郵送またはメールで公園緑地課へ(〒194-8520、森野2-2-22、☒mcity5730@city.machida.tokyo.jp)。申込書は公園緑地課(市庁舎8階)でも配布しています。



問

公園緑地課 ☎724・4399

剪定枝をたい肥として活用しています

市では、資源回収した剪定枝等でたい肥(土壌改良材)を作っています。

剪定枝たい肥とは、市内で剪定した木の枝葉や幹を、町田市剪定枝資源化センターで細かく粉砕して水と空気を加えて、3か月間発酵・熟成させたものです。市内で育てられた木々はたい肥として新しい花や緑の栽培に役立っています。

自然素材だけを使った、環境に優しいたい肥は、花壇コンクールで参加者に配布されているほか、同センターやJA町田市でも販売されています。詳細は市HPをご覧ください。



問 町田市剪定枝資源化センター ☎708・4772
循環型施設管理課 ☎797・2732



今も未来も大切に
町田市のSDGs

